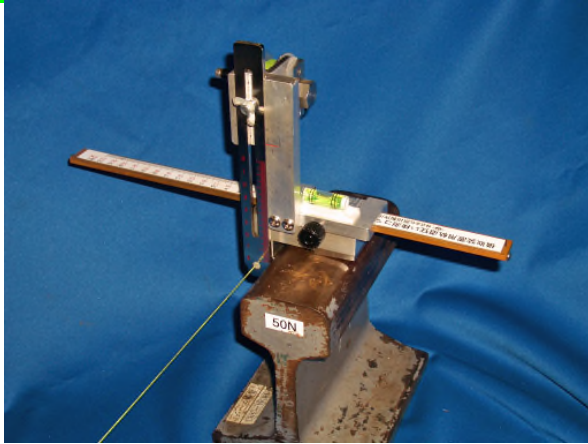


横取装置用軌道変位検測コマ

HDG 1 (改良型)

2010/8/30



概要

この測定器は、横取装置の設置状態における「高低と通り」、「ガードレール等のフランジウェイ幅」及び「下部の建築限界」が測定できる測定器です。

横取装置の構造的な高低差「35mm, 40mm, 47mm」に対応ができ、横取装置左右両端で保持する検測コマA、検測コマB（水系リール付き）と水系で構成されます。

特長

- (1) 「高低」の測定
測定する横取装置の高低差「35mm, 40mm, 47mm」に測定コマ（通常20mm）をプラスした寸法に検測コマA, Bの縦尺をセットし水系を張り「高低」を測定します。
- (2) 「通り」の測定
横取装置左右両端にセットする検測コマA、検測コマBの縦尺をゲージライン（14mm下）に設定し、20mmの測定コマ入れた状態をつくり「通り」を測定します。
- (3) 「フラジウェイ幅」及び「下部の建築限界」の測定は取扱説明書を参照して下さい。
- (4) 従来品の改良として、糸の巻取り時における水系のクラッシュ対策、横目盛尺のすべりを改良し、組立状態で収納保管できるようなトランクを採用しました。

性能

(1) 対象	横取装置	
(2) 測定範囲	縦目盛	37mm、14mm(黒色)から 0から80mm(赤)
	横目盛	通り目盛、FW幅目盛 0から200mm
(3) 最小目盛	1.0mm	
(4) 寸法・重量		
	トランク	280x410xh120 2.9kg
	検測コマA	350x180x82 0.69kg
	検測コマB	350x180x63 0.84kg
	合計	4.43kg



(収納用トランク)

株式会社原田製作所

〒132-0031 東京都江戸川区松島1 36 2
 NTT 03(3655)6165
 NTT fax 03(3655)6766
 JR(fax) (057)2229

地区代理店